

## ■ 本文

雪のいと〔①〕高う降りたるを、例ならず〔②〕御格子（みかうし）まゐりて、炭櫃（すびつ）に火おこして、物語などしてあつまりさぶらふに、「少納言よ。香炉峰（かうろほう）の雪いかならむ〔③〕」と仰せらるれ〔④〕ば、御格子上げさせて、御簾を高く上げたれば、笑はせたまふ〔⑤〕。人々も「さる事は知り、歌などにさへうたへど、思ひこそよらざりつれ〔⑥〕。なほこの宮の人にはさべきなめり」と言ふ。

## ■ 設問（全20問）

- 傍線部①「いと」の意味として最も適切なものを次から選びなさい。  
ア たいして イ たいへん（非常に） ウ ときどき エ かえって
- 傍線部②「例ならず」を現代語訳しなさい。
- 傍線部②「例ならず」の「なら」「ず」を、それぞれ文法的に説明しなさい（助動詞の種類と活用形）。
- 本文中の「御格子（みかうし）まゐりて」の「まゐり」は、ここではどのような意味・用法か。最も適切なものを次から選びなさい。  
ア 参上する（謙譲語） イ 差し上げる（謙譲語） ウ（御格子を）お下ろしする エ 召し上がる
- 本文中の「あつまりさぶらふ」の「さぶらふ」は、ここではどのような敬語か。種類を答え、誰への敬意かを説明しなさい。
- 傍線部③「いかならむ」を、文法的な構成（語の品詞）にふれながら現代語訳しなさい。
- 傍線部③「いかならむ」の「む」の文法的意味を答えなさい。
- 傍線部④「仰せらるれ」について、次の問いに答えなさい。  
「仰す」はどのような敬語か。種類（尊敬・謙譲・丁寧のいずれか）を答えなさい。  
「仰す」は、誰から誰への敬意を表しているか答えなさい。  
助動詞「らる」の文法的意味（ここでの解釈）を答えなさい。  
「仰せらるれ」が已然形になっているのはなぜか。直後の語に着目して答えなさい。
- 傍線部⑤「御簾を高く上げたれば、笑はせたまふ」について、次の問いに答えなさい。  
「笑はせたまふ」の「せ」「たまふ」を、それぞれ文法的に説明しなさい。  
「笑はせたまふ」は何という敬語法か。漢字で答えなさい（ヒント：尊敬語を二つ重ねた言い方）。  
「笑はせたまふ」は誰への敬意を表しているか。また、その主語にあたる人物は誰か答えなさい。  
清少納言はなぜ御簾を上げたのか。白居易（はくきょい）の漢詩を踏まえて説明しなさい。  
この場面における清少納言の応答は、どのような点で「機知（ウィット）に富む」と評価されるのか、簡潔に説明しなさい。
- 本文中の「御格子上げさせて」の「させ」の文法的意味を答えなさい。傍線部⑤「笑はせたまふ」の「せ」との違いにふれること。

11. 本文中の「歌などにさへうたへど」の「さへ」の意味として最も適切なものを次から選びなさい。  
ア～だけ イ～さえ（～までも） ウ～ばかり エ～のみ
12. 傍線部⑥「よらざりつれ」を単語に分け、それぞれの品詞・文法的意味を答えなさい。
13. 傍線部⑥をふくむ「思ひこそよらざりつれ」には、ある文法上のきまりが用いられている。その名称と、結びの語の活用形を答えなさい。
14. 傍線部⑥「よらざりつれ」を現代語訳しなさい。
15. 波線部「さべきなめり」とは、ここではどのような意味か。最も適切なものを選びなさい。  
ア そうあつてはならないようだ イ（女房として） そうあるべき人のようだ ウ そうであるはずがないようだ エ そうであるのが珍しいようだ
16. 「さべきなめり」は、「さるべきなるめり」が変化した形である。どのような音の変化が起きているか、簡潔に説明しなさい。
17. この場面で「人々（女房たち）」が清少納言に対して抱いた気持ちとして、最も適切なものを次から選びなさい。  
ア あつかましいとあきれられる気持ち イ ふるまいを非難する気持ち ウ 才知に感心しほめたたえる気持ち エ 漢詩を知らないことを恥じる気持ち
18. 【文学史】この作品『枕草子』について、次の問いに答えなさい。  
作者名を漢字で答えなさい。  
ジャンル（文学の種類）を答えなさい。  
作者が仕えた中宮（皇后）の名を漢字で答えなさい。  
成立した時代を答えなさい。
19. 【文学史】『枕草子』の作風や美意識を表す言葉として最もふさわしいものを次から選びなさい。  
ア あはれ イ をかし ウ わび エ さび
20. 【文学史】『枕草子』の作者と、しばしば対比される『源氏物語』の作者は誰か。漢字で答えなさい。  
また、その作者が仕えた中宮の名も答えなさい。